

愛される犬を増やし事故防止を



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 検討したい

問 伊勢崎市で重大な咬傷事故が発生したが、飼い主の飼い方、しつけのトレーニング不足が事故発生要因となっていた。そういう飼い主を調査し個別指導するためには、大変お金がかかる。町内の犬の飼い主に対する飼い方などへの啓発の方法として、愛される犬を増やしていくことが、根本的な解決策となる。この取り組みについては、県内他市町村で実施している、長寿犬の表彰(犬の登録、狂犬病予防注射実施、苦情などがない犬)の実施により、近隣の人

からも愛される犬の飼い方をしている人たちの目標になる事業をしている所もあるが参考

障害者の自立支援の現状は

答 目指すは共生社会の実現

問 障害とは、社会が障害者を差別するために作り出している垣根であると考え人が多くなっている現在。障害者の自立支援に対する町の関与の現状は。薫英会のスタンプアートのような才能を持つ人の支援は。励みになるような表彰制度などの創設は。

答 町長 障害の有無にかかわらず、全ての人が助け合い、共に生きてゆくことが、われわれが目指す共生社会の実現であると考える。

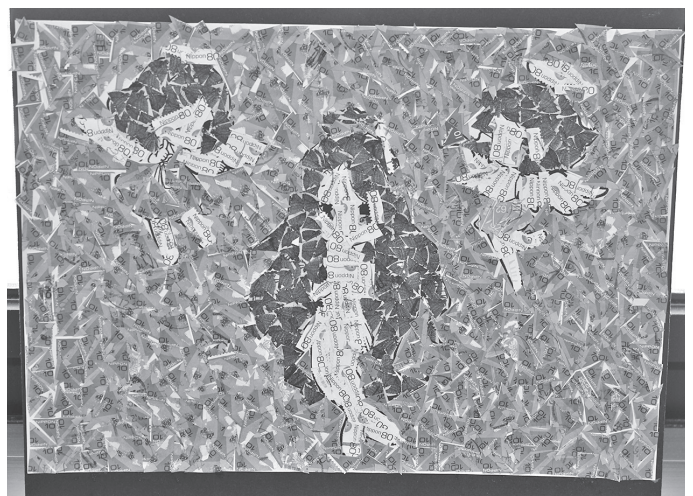
にしてはどうか。
答 町長 担当と検討させていたたたき

答 介護福祉課長 障害者の特性や希望に沿った就労、障害年金など公的制度による経済的支援、差別偏見を取り除く社会参加の3つの支援を行っている。障害者にとって多様な価値を有する創作活動推進を考えたい。励みになるような表彰制度などの創出を検討するとともに、県の協力のもと、専門の芸術指導者育成にも目を向けていきたい。町民が作品を鑑賞したり購入できる機会を増やせるよう団体や施設などと連携していく。

問 洪川ロータリークラブ主催の「子どもたちとつくる音楽会」のような催しを、町の文化活動として継続していく方法は考えられるか。

答 町長 町の文化活動として、中学生や高校生を巻き込んだ音楽会が実現できればという思いを持った。教育長 文化薫る豊かな町として一

答 町長 町の文化活動として、中学生や高校生を巻き込んだ音楽会が実現できればという思いを持った。教育長 文化薫る豊かな町として一



障害者の励みになるような表彰を
(障害者支援施設薫英荘スタンプアート)

層輝けると考える。吹奏楽部を継続して指導できる人材発掘にも1年はかかる想定。実現の可能性を探るところから検討が必要。町では、チームスポーツや大編成の吹奏楽も楽しめる。難しい点もあるが、良い点をどこまで取り入れられるか考えながら進めていきたい。

い。

通学バスの無料化を



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 無償化に向け協議 6年度中実施

問 昨年12月定例議会
で通学バスの無料
化を求める質問に対し
て、さまざまな問題が
あり全体の通学のあり
方を考えなければなら
ないと回答している。
議会でもこれまで、直
近で8回無料化を要望
している。議会が無理
な難題を言っている
と捉えているのか。公
平、公平と言っている
例えば、子どもの貧困問
題などは何も解決しな
い。補助制度は足りな
いところが公が補うと
言うのが趣旨ではない
のか。だからそれぞれ
の市町村が地域にあっ
た制度を作り、等しく

学べる環境整備を行っ
ているが、どのよう
に考えているか。
答 教育長 通学バス
の無償化について
は、近隣市町村の状況
などを調査し、情報調
査をした自治体全て無
償であった。通学の距
離もさることながら、
高低差のある地区から

の通学に関しては当然
配慮も必要であり、無
償化については、町長
からしっかりと協議する
ように指示があり、無
償化に向けた協議に取
り組んでいる。
問 今でも検討はす
ると言うが、いつ
も一歩が踏み出せな
い。令和6年度から実



通学バス無償化は令和6年度中に実施

施すべきだと思いが、
どうか。

答 教育委員会事務局
長 令和6年度中
に無償化を実施。

問 貧困問題・障害者
差別・ヤングケア
ラー問題は、教育委員
会の問題だけではな
く、行政も含めて考え
なければならぬ問題
だが、どのように考え
ているのか。

答 教育長 貧困問題
については、困っ
ている人により学校
教育で担っていくと
ころに重点を置くこと
が大事だと思う。多様
な子どもたちがいるこ
とを前提にして、全
ての子どもたちが自分
の力を発揮して学べる環
境を作り、全ての子ど
もたちが自分の力を発
揮して学べる学校をつ
くる必要がある。

学校給食の無料化は

答 一定の負担を求めていきたい

問 全体的に学校給食
費の無料化が進ん
でいるが、県内では未
実施は少数である。前
橋市長選挙でも候補者
が公約に掲げていたた
め、早々実施されるだ
ろう。渋川市では10年
ほど前から、隣の榛東
村でも令和6年度から

実施される。吉岡町が
県内ただ一つとなっ
ても実施しないつもりな
のか。

答 町長 保護者負担
の軽減についても
配慮しつつ、今後も一
定の負担を求めていき
たいと考えている。

安心安全な水道水の供給は



さかた かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 PFASは検出されなかった

問 水道事業は、安心安全な水を廉価で安定して供給することが第一に求められる。しかし、このところ全国各地で、水道水などから※¹PFASが検出され、問題となっている。町の水道水の現状は。

答 町長 町では、国の通知を受け、昨年12月に水質検査を実施。PFASは検出されなかった。

問 町内の公園の町民一人当たりの面積は、全国平均・県平均と比べても低いのが現状だ。町長の公園整備に対する基本的な考え



安心安全で廉価な水の供給が第一（新幹線トンネル水原水調節井）

問 八幡山グラウンド拡張整備に関する基本構想の概要は。

答 教育委員会事務局 長 既設の運動場に主要施設の400×

答 見込めるのは4千800万円の助成金

八幡山グラウンド拡張整備の財源は

答 建設課長 第6次総合計画・都市計画マスタープランに沿った、町民が求める利用しやすい公園づくりに向け整備・検討を進めたい。

ミニ解説

※¹PFAS
有機フッ素化合物の総称。水や油をはじき、熱に強い性質があるため、食品の包装や衣類の撥水加工などに使われているが、一部は健康への悪影響が指摘されている。

※²スポーツ振興くじ
誰もが身近にスポーツに親しめる環境整備や、国際競技力向上のための環境整備など、新たなスポーツ振興政策を実施するため、その財源確保の手段として導入されたもの。一般的には「サッカーくじ」と呼ばれ、「tototo」の愛称が付いている。

問 以前の八幡山グラウンド拡張整備計画では、事業費がおよ

可欠と判断し、構想に着手。

答 教育委員会事務局 長 エリア的な制限から、野球場ではなく球技などが行えるサブグラウンドを配置するものとなった。

答 建設課長 道の駅よしおか温泉周辺一帯で多機能かつ一定規模を有する付加価値をつけた公園整備が不可欠と判断し、構想に着手。

問 前の計画にあった野球場が、見直し後の基本構想から外れているが。

答 教育委員会事務局 長 現在見込みのある※²スポーツ振興くじ助成金の限度は、4千800万円。

利用計画となっている。1面、また、隣接箇所には球技などが行えるサブグラウンドを配置した種目別運動施設の利用計画となっている。

答 教育委員会事務局 長 現在見込みのある※²スポーツ振興くじ助成金の限度は、4千800万円。見直し後の計画には、物価高騰などを考慮すれば、さらに事業費が増すと考えられる。財源確保が欠かせないが。

審議会などの女性委員の増員を



ふじた
藤多 ゆかり 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 公平な登用促進を図っていききたい

問 審議会などの委員選出の際、男女共同参画の観点からも女性委員の増員が必要と思うが、町の考えは。

答 町長 女性の割合を単に増加させることを目的とするのではなく、慣習やしきたりにとらわれない、意識の変革による公平な登用促進を図っていききたい。

問 幼小にエレベーターの設置を。

答 教育長 建物の中に組み込むことは、構造上困難。設置には相当の費用がかかり、財政面・技術面からどういった方法がよいか今後検討していく。

問 学童保育の利用要件である、同居祖父母の就労証明書の提出などの要件緩和については、どう考えるか。

答 町長 施設の利用状況・整備などを検討する中で、要件の緩和も検討していききたい。



ジェンダー平等の実現へ

避難所整備の補助金の検討は



やまざき もりひと
山崎 守人 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 補助要件に合致する補助金がない

問 9月定例会で、指定避難所、指定緊急避難場所の整備として、国の一時避難所整備緊急促進事業が活用できないか伺ったが、代わるような補助金などを検討したか。

答 町長 避難所整備に活用できそうな補助金は、各省庁の補助金を検討したが、町の現状で照らし合わせると、補助要件に合致するものが今は見つかっていない。

問 指定福祉避難所について3分野の質問をし、検討したいと答弁されたが、その後どう進めているのか。

答 総務課長 多くの課題が解消できていない状況。現在、新たな指定福祉避難所の指定に向けて、町内の民間福祉施設と具体的な検討・調整を開始する予定がある。まずはこれを実現させ、指定福祉避難所の充実を図りたいと考えている。

問 検討事項や滞っている業務が進むよう対策を講じるべきでは。

答 町長 コロナ禍の影響などにより、人員体制の制約が大きかった。今後、機構改革を通じて、町の防災体制の充実を図っていききたい。



整備が求められる指定避難所
(三津屋田端公会堂)